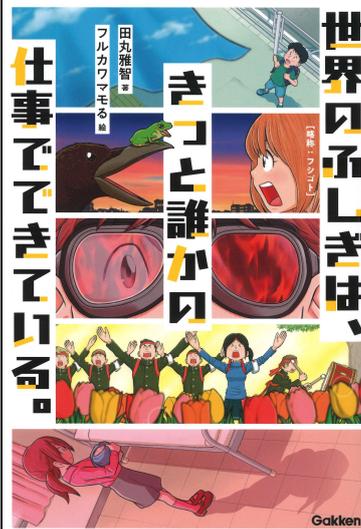




令和7年度

# 茨城県優良図書紹介【小学校高学年向け】



『世界のふしぎは、  
きっと誰かの仕事でできている。』

田丸雅智 (Gakken)

「生き物ボイストレーナー」「影縫い師<sup>かげぬいし</sup>」・・・、この本にはこんな聞いたこともない仕事がいくつも登場します。この不思議な仕事を通して、主人公たちが成長していく素敵なお話です。

『ダンス・フレンド』 カミラ・チェスター/著、櫛田理絵/訳、  
早川世詩男/絵 (小峰書店)



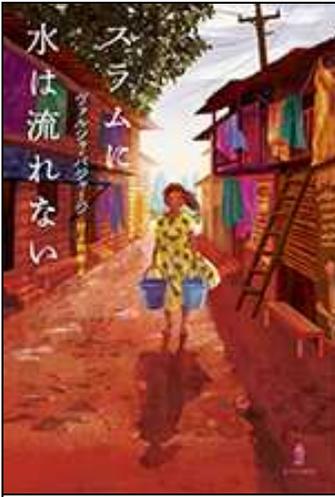
ダンス好きの男の子レオは、「場面かんもく症」のせいで、家族としかおしゃべりができず、友達がいません。ある日、隣の家に同じ年の女の子リカが引っ越してきて・・・。それぞれに問題を持っているふたりが、支え合って問題に立ち向かっていくお話です。

『ラッキーボトル号の冒険』

クリス・ウォーメル/作・絵、柳井薫/訳 (徳間書店)



ボトルシップを知っていますか？帆船の模型が入った瓶のことです。ボトルシップができるまでには、勇敢な1人の少年の物語がありました。宝探し、魔法、島からの脱出、海賊、ハラハラドキドキの冒険の世界へようこそ！



## 『スラムに水は流れない』

ヴァルシャ・バジヤージ/著、村上利佳/訳（あすなろ書房）

水が犯罪や病気を引き起こすインド、ムンバイのスラム。いくつもの試練を乗り越えながら成長していく12歳のミニニ。「生きるために必要なものは何か。」日本の当たり前を見直すきっかけにもなります。



## 『光の粒が舞いあがる』 蒼沼洋人（PHP 研究所）

「心愛（ここあ）」と「こはく」は中1の女の子。「ボクシング」を通じて知り合った2人は、互いに支えあい、時にはぶつかりながら成長し、壁を乗り越えていきます……。



## 『再会の日』 中山聖子/作、藤井紗和/絵（岩崎書店）

小さい頃、妹と離れ離れになった陽香は、あることをきっかけに、親にも黙って妹に会いに行くことにします……。姉妹の再会は周りの大人にも影響を与え……。読み終わった後は優しい気持ちになれる一冊です。



## 『ぼくの色、見つけた！』

志津栄子/作、末山りん/絵（講談社）

信太郎は自分が「色覚障がい」であることを隠しながら、過ごします。しかし、温かく接してくれる先生との出会いから、「障がい」との付き合い方を見つけていきます。読み終わった後はさわやかな気持ちになれる作品です。



## 『あなたの言葉を』 辻村深月（毎日新聞出版）

「運動が苦手」、「みんなと違う考え方はいいの」など、みなさんに身近なテーマについて、作家の辻村深月さんが、自分の体験をもとに、わかりやすい言葉でつづります。



## 『わたしと話したくないあの子』

朝比奈蓉子/作、双森文/絵（ポプラ社）

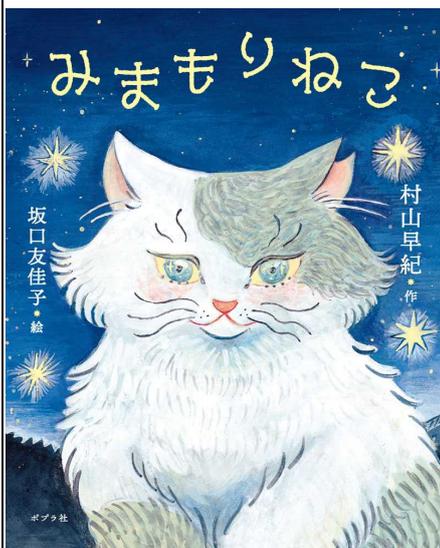
「早紀ちゃんが知っているわかなはもういない。できたら、わたしにかかわらないで。」3年ぶりに帰ってきた大親友わかなからの言葉。時間と環境は友達関係をかえるのか。友達について考えてみたい人へ。



## 『地図にないお店 純喫茶クライ』

吉田桃子/作、中島梨絵/絵（岩崎書店）

おいしそうなプリンアラモードの表紙に、思わず本を手に取りたくなります。中を開けば、心にモヤモヤを抱えた5人の話。純喫茶クライのマスターが、うれしいメニューと自分の心と素直に向き合う時間を用意して待っています。



## 『みまもりねこ』

村山早紀/作、矢口友佳子/絵（ポプラ社）

いつも泣いている女の子に寄り添うねこのやさしさが、心温まるお話。絵本なので、読書が得意でなくても、ぜひ読んでみてください。



## 『エイ・エイ・オー！ 僕が足軽だった夏』

佐々木ひとみ/作、浮雲字一/絵（新日本出版）

5年生の夏、杜乃武将隊の一員になった直樹。カッコいい戦国武将を思い描いたはずが役割は足軽。しかもたいへんなことばかりでやる気は空回り・・・「エイ・エイ・オー！」のかちどきから勇気と力がもらえます。